

グリルで調理をする

グリルで自動調理をする



15

ご注意

グリメ調理(水なし)の場合、水を入れないでください。調理中はメニューおよび仕上がりの変更はできません。調理物を入れたままにしておくと余熱で焦げ過ぎることがあります。

準備 魚焼き調理では、受皿に水(200mL)を入れ、材料を焼網の上に載せ、グリルドアを確実に閉める

1 電源切/入を「ピッ」と鳴るまで押し、
電源を入れる(ランプが点灯します)

2 メニューを押し、希望のメニューの
ランプを点灯させる

3 を押し、
食材に適した仕上がりに
設定する

4 切/スタートを押し、通電する
メロディーが鳴ったら終了です。
食材を取り出します

5 続けて使わないときは
電源切/入を押し、電源を切る
(ランプが消灯します)

423

メニュー選択

仕上がり設定

グルメ自動調理の目安

自動調理の目安

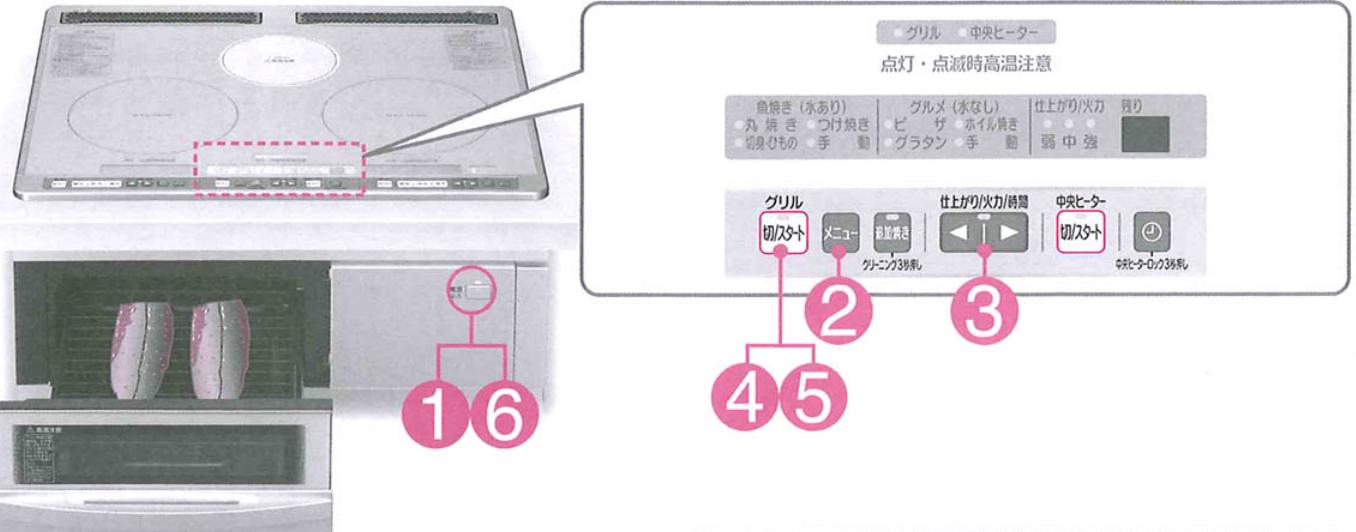
自動調理物に合わせてメニューと仕上がりを選んでください。

[]は1尾(切れ・枚・本)あたりの重さです。()は調理時間の目安です。目安を基準にして、大きさや数によって仕上がりを選んでください。

メニュー	つけ焼き			切身・ひもの			丸焼き			
	弱	中	強	弱	中	強	弱	中	強	
魚焼き自動調理の目安	自動調理の焼きあげ強さは、「つけ焼き」<「切身・ひもの」<「丸焼き」の順に強くなっています。									
	ぶりのつけ焼き (しょうゆ漬け) [約100g]5切れ (約12~13分)	はたはた [約25g]5尾 (約14~16分)	さんまの一晩干し [約110g]2枚 (約16~18分)	塩さんま(塩蔵品) [約180g]1~5尾 (1尾:約13~15分) (5尾:約17~19分)	さんまの塩焼き [約180g]1~5尾 (1尾:約16~18分) (5尾:約21~23分)					
	さわらの西京漬け (みそ漬け、かす漬け) [約100g]5切れ (約14~16分)	めざし [約25~30g]5尾 (約12~15分)	塩鮭 [約80g]5切れ (約17~18分)	はたはた(生) [約30g]5尾 (約15~18分)	いさき [約230g]2尾 (約18~23分)					
	焼きとり(たれ焼き) [1本約50g]8本 (約11~13分)	さばの切身 [約80~100g]5切れ (約16~18分)	ししゃも [約20g]8尾 (約12~14分)	あじの開き [約100g]2枚 (約17~18分)	鯛の塩焼き [200~400g]1尾 (約18~20分)					
	焼きとり(塩焼き) [1本約50g]8本 (約13~16分)	あじの開き [約100g]2枚 (約17~18分)	鯛の塩焼き [400g以上]1尾 (約22~27分)							
	グルメ自動調理の目安	自動調理の焼きあげ強さは、「ピザ」<「グラタン」<「ホイル焼き」の順に強くなっています。								
		冷凍ピザ [1枚 直径約26cm 約300g]1枚 (約14~16分)	冷凍グラタン [1皿 約240g]2皿 (約18~21分)	鶏手羽先のつけ焼き [1本 約60g]6~8本 (約20~23分)	鶏のハーブ焼き [1枚 約250g]1~2枚 (約21~23分)					
		冷蔵ピザ [1枚 直径約26cm 約300g]1枚 (約13~16分)	手作りピザ [1枚 直径約26cm 約300g]1枚 (約13~16分)	ピリ辛ウイング [1本 約60g]6~8本 (約19~22分)	鮭のホイル焼き [1個 約150g]1~2個 (約19~23分)					

グリルで調理をする (つづき)

グリルで手動調理をする



準備 魚焼き調理では、受皿に水(200mL)を入れ、材料を焼網の上に載せ、グリルドアを確実に閉める

1 電源切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、
電源を入れる(ランプが点灯します)

2 メニューを押し、
「手動」ランプを点灯させる

3 を押し、
食材に適した火力に
設定する

4 切/ストを押し、通電する

5 調理が終わったら
切/ストを押し、通電を切る

6 続けて使わないときは
電源切/入 を押し、電源を切る
(ランプが消灯します)

△注意

- 調理中はそばを離せず、調理の仕上がりに合わせ、調理時間を調節してください。

ご注意

- グルメ調理(水なし)の場合、水を入れないでください。

メニュー選択

点灯

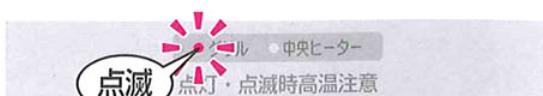


火力設定



タイマーを使うときは → P.28

- 庫内の温度が約80°C以下になるまでグリルの高温注意ランプが点滅して高温表示をします。



手動調理の目安

調理物に合わせてメニューと火力を選んでください。

※[]は1枚(尾・はい・個・本)あたりの重さです。()は調理時間の目安です。目安を基準にして、大きさや数によって火力を選んでください。

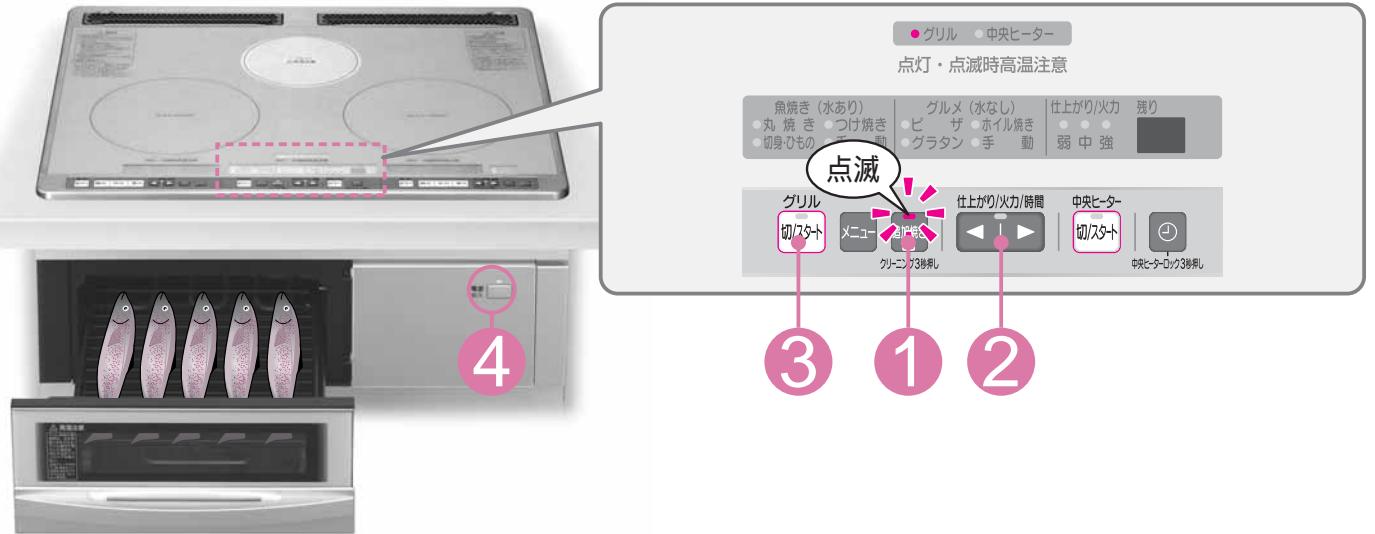
メニュー	手動(自動で焼けないもの)		
	弱	中	強
魚焼き手動調理の目安		 小あじのみりん干し [1枚 約20~40g] 小6枚 (約5~10分)	 さんまのみりん干し [約80~160g] 中2枚 (約6~10分)
グルメ手動調理の目安	 焼きなす [1個 約60g] 4個 (約20~25分)	 焼きピーマン(パプリカ) [1個 約150~180g] 2個 (約12~18分)	 焼きおにぎり [1個 約80g] 2個 (約16~18分)

△注意

- グリル使用時は必ず換気扇を使用してください。(調理中、吸・排気カバーから煙が出ます。)
- グリルドアの開閉は、グリルドアのとての中央を持って行ってください。(それ以外ではグリルドアの開閉ができない場合があります。)
- グリルドアはゆっくり開閉してください。(受皿の水がこぼれたり調理物が焼網から落ちる場合があります。)
- 受皿にアルミホイル・クッキングシート・オープンシート・グリル石などを入れて使用しないでください。(油が過熱され、燃えることがあります)
- 焼網に材料を載せるときは、焼網からはみ出さないようにしてください。(材料がヒーターにつくと発火する恐れがあります。)
- 長時間グリルを使用すると、グリルドアのとての下側が熱くなるのでご注意ください。
- ドア周辺から煙や水蒸気が漏れる場合があります。
- 調理中、吸・排気カバーの上に鍋などを置いて吸・排気口をふさぐと、グリルドアから煙が漏れたり、グリルドアの周囲や下側に露がついたりします。
- 材料を載せたまま受皿を外さないでください。(本体から外した時、バランスをくずし、材料がすべて落ちるなどやけがの原因となります。)
- 連続してご使用になる場合は、毎回焼網と受皿の汚れをきれいにし、グリル庫内の温度を下げてから調理してください。グリル庫内の温度が高いまま調理すると、センサーが正しく働かず早めに調理が終了したり、調理時間が長くなったりします。(高温のためやけどに注意する。)
- もちはヒーターに触れるので焼かないでください。焼く場合はフライパンで焼いてください。 → P.44
- 魚の脂や他の食品かすがついたまま調理をすると、前の食品のにおいがつくことがあります。焼網と受皿の汚れをきれいにしてから調理してください。 → P.33
- 自動調理の途中でグリルドアを開けないでください。上手に調理できません。
- 調理中、グリルドアがくもったり、周りに露がついたりすることがあります。周りについた露はふきんでふき取ってください。

グリルで調理をする(つづき)

追加焼きをする



準備 魚焼き調理では、受皿に水(200mL)を入れ、グリルドアを確実に閉める

1 を押し、
点滅しているランプを点灯させる

2 を押し、
時間を設定する

3 を押し、通電する
メロディーが鳴ったら終了です。
食材を取り出します

4 続けて使わないときは
電源 を押し、電源を切る
(ランプが消灯します)

ご注意

自動調理が終了すると約5分間 のランプが点滅します。

自動調理終了後、約5分以内にセットしてください。
グルメ調理(水なし)の場合、水を入れないでください。

追加焼き時間設定



タイマー時間は3分から始まります。29分まで設定できます。

さらに焼きが足りないときはもう一度追加焼きを行ってください。

庫内の温度が約80℃以下になるまでグリルの高温注意ランプが点滅して高温表示をします。

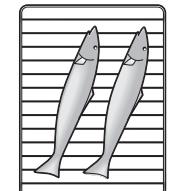


グリル調理のポイント

魚焼き調理のこつ

魚を調理する場合は、尾などの薄い部分が焦げやすいので、焼網の手前側に尾を向けてください。
魚を1尾~4尾焼く場合は、ヒーター形状により置く位置で焼き色がつきにくい場合がありますので魚を斜めに置いてください。

焼網にサラダ油などを塗っておくと調理物が焼網に付着しにくく、取り出しがやすくなります。
焦げ目のつき具合は魚の種類や大きさ、脂ののり具合、魚の温度、塩のふりかけんによって違います。
(塩のふる量が多いと焦げ目が強くなります。) お好みにより「仕上がり」キーで調節してください。
生魚(さんまやあじなど)は、焼き色がつきにくいので、調理する約10~20分前に塩をふっておきます。
冷凍してある魚は、よく解凍してから焼いてください。魚の内部が冷たいため、中まで火が通りにくく焼き不足になったり、温度センサーが正しく働かず焼き過ぎたりします。
厚みのある魚は、そのまま焼くと中まで火が通りにくく、焼き不足になりますので皮に切れ目を入れてください。
厚みのある魚は切って4cm以下にしてください。
焼網よりも大きな魚を調理する場合は、半分に切ってください。
複数の食品を焼くときは種類、大きさ、厚さをそろえてください。小さいものや火の通りやすいものは、焼き過ぎになります。
塩さんま(生)は、保存(冷蔵)期間が2日以上の場合、切身・ひものメニューで焼いてください。(皮が乾燥しているので丸焼きメニューで焼くと皮が裂けたり焦げやすくなります。)
つけ焼きのたれは、よく落としてください。たれやみそが多くついていると焦げやすくなります。お好みにより「仕上がり」キーで調節してください。



グリルで調理をする(追加焼き)

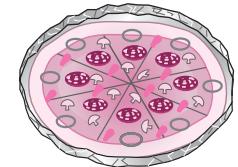
グルメ調理のこつ

冷凍食品を調理するときは、解凍せずに冷凍のまま調理してください。

冷凍ピザや冷蔵ピザを調理するときは、包装を外してからアルミホイルをピザのまわりにそって折り曲げてください。

冷凍グラタンを調理するときは、包装を外してからアルミケース皿のまま入れてください。
(電子レンジ用のプラスチック容器の冷凍グラタンは、焼くことができません。)

焼き豚など、厚みがあって中まで火の通りにくいメニューは、食材の厚さを4cm以下にしてください。
調理するときの置き方は、下図の例のように中央部に置いてください。



ご注意

通電してしばらくの間、前回の調理でヒーターについた脂が加熱されおいや煙が出ることがあります。
調理中、材料の脂などが下ヒーターや受皿に落ちると、においや煙が出ることがあります。

調理中はヒーターがついたり消えたりしますが、温度調節しているため故障ではありません。

調理直後にグリルドアを開けたときに煙が前面から出ます。特に脂分の多い魚などを焼いたあとは、30秒程度待ってから開けたください。

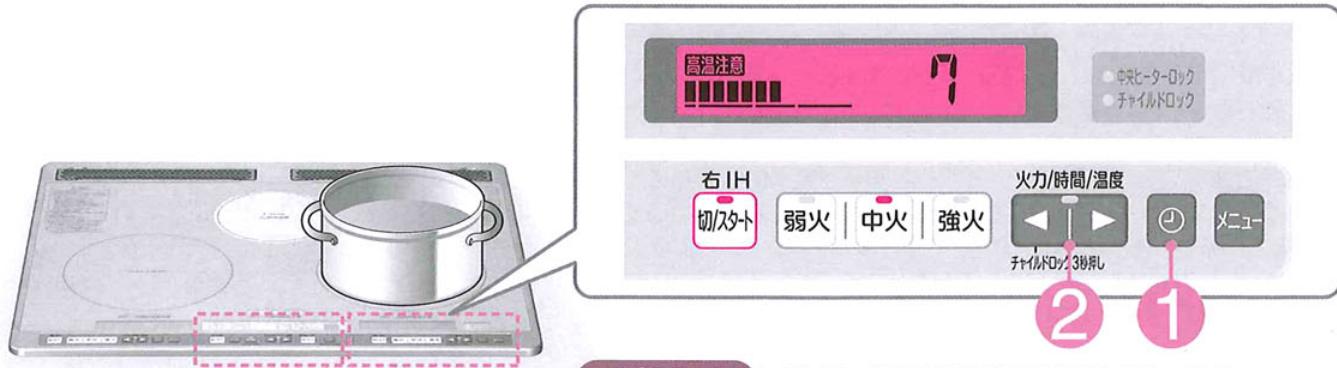
グリル調理はメニューに応じて上・下ヒーターを自動的に切り替えます。メニューによっては上・下ヒーターの通電を細かく切り替えるため、ヒーターが赤くならない場合があります。

手動調理は上・下ヒーターの通電を細かく切り替えて両面を焼き上げるため、自動調理で調理するよりも仕上がりに時間がかかる場合があります。

便利に使う

タイマーを使う

お知らせ 右ヒーターで説明しています。



お知らせ グリル(手動調理)で説明しています。



電源を入れ、火力を選び **切/スタート** を押したあとの通電中(調理中)にセットします。

左・右ヒーター

1 該当する各ヒーター(左・右)の **(○)** を押す

2 **< | >** を押し、時間を設定する

- 設定できる最大時間
火力「1」～「5」▶9時間55分
火力「6」～「12」▶1時間

1分～1時間までは1分きざみ、1～5時間までは10分きざみ、5～9時間55分までは30分きざみで設定できます。

約3秒間待つ メロディーが鳴り、タイマーがスタートします
メロディーが鳴ったらタイマー終了です。自動的に通電を停止します。

- 途中で調理タイマーを中止するときは、もう一度 ① を押してください。
- 設定した時間を変更したい場合は、タイマーを中止し、再度設定してください。

操作をロックする

お知らせ ●安全のために、操作できないようロックできます。

●全てのヒーターが切れている状態で受け付けます。

●電源を切っても記憶しています。



全ての操作をロックする

1 電源 **□** を「ピッ」と鳴るまで押し、
電源を入れる(ランプが点灯します)

2 右ヒーターの **<** を3秒間押し、
ランプを点灯させる

全てのロックを解除する

1 電源 **□** を「ピッ」と鳴るまで押し、
電源を入れる(ランプが点灯します)

2 右ヒーターの **<** を3秒間押し、
ランプを消灯させる

メロディーをブザーに切り替える

1 電源 **□** を「ピッ」と鳴るまで押し、電源を入れる(ランプが点灯します)

2 左ヒーターの **>** を3秒間押し、「ピピッ」と鳴ったら切り替え完了

●もとにもどすときも、同じ操作をします。